

特別展覧会

聖徳大学看護学部開設記念

レオナルド・ダ・ヴィンチの 解剖手稿



— 英国ウィンザー城王室図書館所蔵コレクション —

ご あ い さ つ

聖徳学園の歴史は、1933(昭和8)年、東京市大森区(現在、東京都大田区)に聖徳家政学院・新井宿幼稚園を設立したことに始まります。81年目を迎えた本年、聖徳大学看護学部を新たに開設いたしました。これを記念して、本学が所蔵する学術資料コレクションの中から、『モナ・リザ』の作者として世界的に有名なレオナルド・ダ・ヴィンチ(1452~1519)が遺した人体の解剖手稿(復刻版)を公開します。

レオナルド・ダ・ヴィンチは、建築学、天文学、解剖学、幾何学など幅広い分野の手稿を遺していますが、今回展示する資料は、イギリスのウィンザー城王室図書館に所蔵されている「解剖手稿」をきわめて忠実に複製したファクシミリ版で、国際復刻版計画に基づき日本では350部のみ印刷されたものです。

手稿に描かれた解剖図は、当時の医学レベルをはるかに超えたものであり、1543年に出版された、近代医学の祖とされるアンドレアス・ヴェサリウス(1514~1564)の解剖図譜に比肩出来ると言われています。

解剖手稿は、レオナルド・ダ・ヴィンチの卓越した観察力、描写力、発想力、そして人間に対する飽くなき探求姿勢を彷彿させます。

“万能の天才”レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖学者としての側面に触れていただければ幸いです。

平成26年9月15日

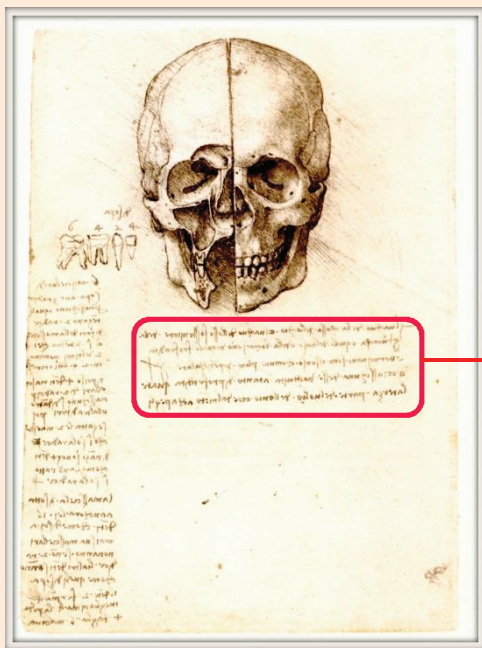
学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘純

レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿を読み解く

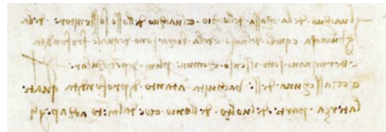
『モナ・リザ』や『最後の晚餐』の作者として知られるイタリア・ルネッサンスの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452-1519)は、絵画のみでなく、建築学、工学、天文学、解剖学、幾何学など幅広い分野にわたり研究を行っており、これらの研究業績は、現存するだけでも約 5,000 ページにもおよぶ「レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿」として遺されている。その中の一つがイギリスのウィンザー城王室図書館に所蔵されている「解剖手稿」である。

この解剖手稿は、1490年頃から1510年頃までの約20年間に描かれたもので、レオナルド・ダ・ヴィンチが 40～60歳ごろのものである。

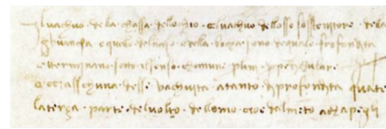
1982年、この手稿をきわめて忠実に複製したファクシミリ版を作製し、同時に、そこに書かれている文字(全て鏡文字)の活字化と注釈を加えた解説書を、英語、イタリア語、日本語で出版した。注釈等の執筆は医師で医学史家のケネス・D・キール博士とレオナルド学の権威カルロ・ペドレッティ教授によるもので、日本語版は裾分一弘・学習院大学名誉教授、山田致知・金沢大学教授らにより和訳された。



解剖手稿 (K&P 42v) ※



原本文章(鏡文字)



鏡文字を反転

iluachuo・della・chassa・dellochio・eluachuo delloosso sosstenjtore・della
ghuancja・e quello・del naso・e della・bocha・sono・dequale・frofondjta
[sic.profondjta]
e ttermjnano・sotto・il senso・chomune・perlinj・perpēdichulare—

ケネス・D・キール博士とカルロ・ペドレッティ教授による注釈

眼の容器〔眼窩〕の空洞や頬を支える骨の空洞〔上顎洞〕、また鼻や口の空洞は同じ深さであり、共通感覚から下した鉛直線状で終わっている—

裾分一弘名誉教授、山田致知教授らによる和訳

※ K&P 番号

キール博士とペドレッティ教授は、各解剖手稿の制作年を推定し、年代順に(K&P 番号)を付与した。(rは表、vは裏)

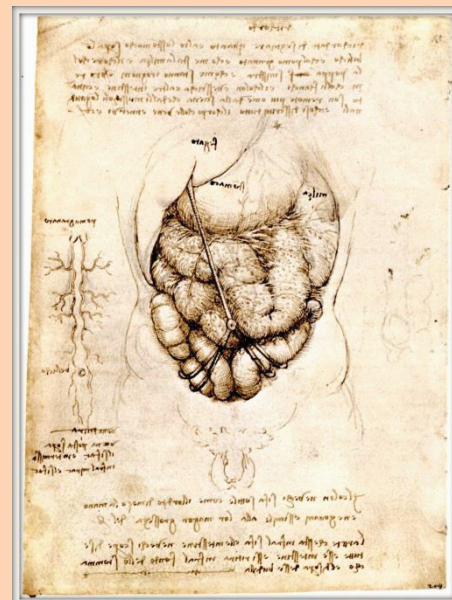
【さまざまな解剖手稿】



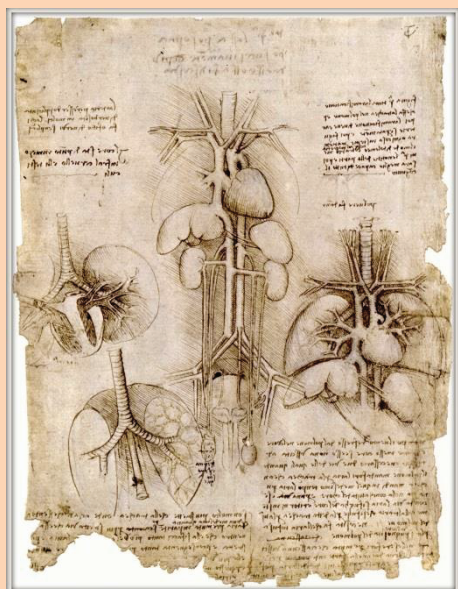
K&P 32r



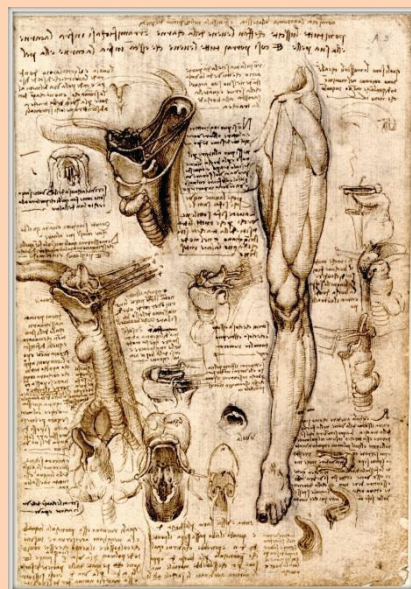
K&P 43r



K&P 61v



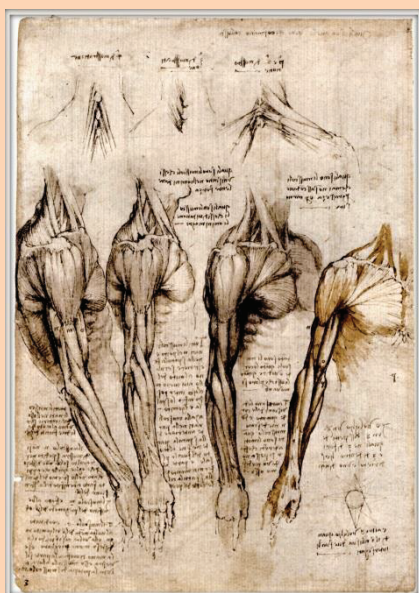
K&P 107r



K&P 134r



K&P 137v



K&P 140v



K&P 143r



K&P 198r

レオナルド・ダ・ヴィンチの略歴

西 暦	年齢		事 項
1452 年		ヴァンチ村	4月15日、公証人セル・ピエロ・ダ・ヴィンチと農夫の娘カテリーナとの間にフィレンツェ共和国のヴィンチ村で生まれる。
1466 年	14 歳	第一フィレンツェ時代	フィレンツェのペロッキオ工房に入門。
1472 年	20 歳		6年間の修業を終え、聖ルカ画家組合に登録。
1473 年	21 歳		自署のある風景素描を残す。 このころ、ペロッキオ作『キリストの洗礼』の一部を制作。
1478 年	26 歳		フィレンツェ政庁から聖ベルナルド礼拝堂の祭壇画の制作を委嘱される。
1482 年	30 歳	第二フィレンツェ時代	ミラノへ移る。ミラノ公ルドヴィーコ・イル・モーロに仕える。
1483 年	31 歳		サン・フランチェスコ・グランデ聖堂祭壇画『岩窟の聖母』の制作を委嘱される。
1485 年	33 歳		皆既日食観測。
1489 年	37 歳		解剖学(人体・馬)研究、飛行機設計など。
1490 年	38 歳		光学研究、鳥の飛翔論文執筆。
1494 年	42 歳		河川工事の設計監督に従事。
1495 年	43 歳		『最後の晚餐』に着手。
1497 年	45 歳		数学、骨格構造、地質学、光学を研究。
1499 年	47 歳		ベネチアを経てフィレンツェに戻る。
1500 年	48 歳		素描『イザベラ・デステの肖像』、『聖アンナと聖母子』に着手。
1502 年	50 歳		軍事研究家として水利工事や橋を設計。
1503 年	51 歳		アルノ河水路の変更を計画。『アンギアリの戦い』の下絵に着手。
1504 年	52 歳	第三ミラノ時代	7月、父セル・ピエロ死去。
1505 年	53 歳		このころ、名声は頂点に達する。科学研究、解剖学、生物学、全宇宙論などを展開。 鳥の飛翔と立体幾何学を研究。
1506 年	54 歳		ミラノに戻り、フランス総督シャルル・ダンボワーズの官邸に滞在。 宮殿礼拝堂の設計、『岩窟の聖母』第2作に着手。『レダ』構想。『モナ・リザ』はこの頃完成。
1507 年	55 歳		フィレンツェに行く。ルイ 12 世の宮廷画家兼技師に任命される。
1508 年	56 歳		春、ミラノへ戻る。フランス王の画家兼技師。 フランス軍に従事。水流、運河の研究に力を注ぐ。
1509 年	57 歳		ルカ・パチオーリの『神聖比例論』のデザイン。ミラノ運河の工事に従事。
1510 年	58 歳		『聖アンナと聖母子』この頃完成。『バツカス像』を描く。解剖学、天文現象を研究。
1511 年	59 歳		トリブルツィオ将軍記念騎馬像をスケッチ。ミラノの大火をスケッチ。
1513 年	61 歳	ローマ時代	『レダ』を描く。この頃『自画像』を描く。 9月、ジュリアーノ・デ・メディチに招聘され、メルツィ、サライらの弟子と共にローマへ。
1515 年	63 歳		フランソワ I 世の王室首席画家、建築家、技術家となる。 王の凱旋入場のため、時計仕掛けのライオンを製作。
1516 年	64 歳	アンボワーズ時代	フランソワ I 世に招かれ、アンボワーズ城近くのクルーの館が邸宅として与えられた。
1517 年	65 歳		10 月、枢機卿ルイジ・ダラゴーナらレオナルドを訪問。大量の手記と3枚の絵画『モナ・リザ』、『洗礼者ヨハネ』、『聖アンナと聖母子』を見る。
1519 年	67 歳		5月2日死去。遺志により、アンボワーズのサン・フロランタン聖堂で葬儀。

会 期 : 平成26年9月15日(月)～11月1日(土)
午前 9 時～午後 5 時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

会 場 : 聖徳大学8号館1階 利根山光人記念ギャラリー
JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも松戸駅下車、
東口より徒歩5分 (学内に駐車場はありません)